

2015年11月号

Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～

三河港耐震強化岸壁工事現場親子見学会を開催しました

災害発生時における背後圏への緊急物資輸送や幹線物流の継続性を確保等のため、三河港神野心頭西地区において耐震強化岸壁（水深-12m）の整備を行っています。昨年度開催した着工式典（平成26年11月8日）から1年が経過し、工事の進捗を見てもらうことと、土木の日（11月18日）にちなみ港湾及び土木に親しんでもらうため、11月3日（火）に三河港所在市町村（豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市）の親子を対象とした現場見学会を開催しました。（主催：三河港湾事務所、愛知県港湾空港建設協会、共催：三河港振興会）

当日は13組45名（大人14名、子供31名）の参加があり、カモメリアで三河港の紹介や港の役割の説明後、工事現場を見学してもらいました。

参加者は、地盤改良により固まった土のサンプルに触れたり、作業機械の運転席に座るなど、普段できないことを体験して楽しんでいました。

見学会終了後は『普段入る事のない所に入れて見学できて楽しかったです。』『作業する機械に子供たちが乗れたのがよかったです。』『これからも日本一の自動車輸入港でいてほしいと思いました。』『三河港のすごさを知ってもらい、盛り上がるよといと思います。』等の感想が寄せられました。

当事務所では、港の果たす役割を地域の方に理解していただくため、今後もこうした見学会を企画・開催していきたいと考えています。



当事務所長による挨拶

現地の地盤を直接固めることで
地中に大きな塊を造る
高圧噴射攪拌工法による施工！



地盤改良により固まった土の
サンプルに触れる子供たち



工事現場見学の様子



作業機械の運転席体験中



衣浦港外港地区の西防波堤の防波堤先端部改良が完了 ～地震・津波に対して粘り強い防波堤へ～

1959年9月に来襲した伊勢湾台風により、衣浦港及び背後地域で甚大な被害が発生したため、高潮対策として1968年に衣浦港西防波堤工事が造られました。

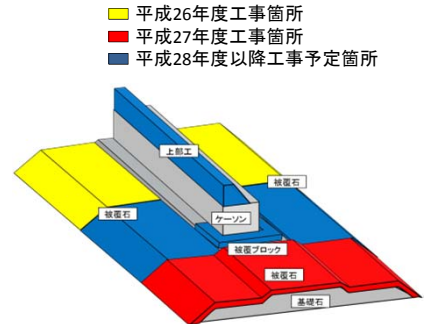
しかし、老朽化や大規模地震発生時の沈下及び来襲する津波に対する防護効果の低下が懸念されたため、平成25年度より防波堤の改良（粘り強い化）を開始しました。

今年度は西防波堤先端部に1.5tの被覆石を投入し、4tの被覆ブロックの設置を行いました。

本工事では東日本大震災における津波被害を教訓に、海上で工事を行う作業員による津波避難訓練や、中学生による工事現場の職場体験学習を実施するなど、工事の安全対策やPR活動に取り組み、9月29日に本年度工事が完了しました。



設置される被覆ブロック



※設計津波を超える規模の津波に対して、防波堤が変形しつつも倒壊しない構造

第5回全国ご当地うどんサミットが開催されました



パネル展示



授賞式の様子

11月7日（土）・8日（日）に、蒲郡市にある「みなとオアシス がまごおり」において、「第5回全国ご当地うどんサミット」が開催されました。今年は17都道府県から、史上最多の28団体が出店し、2日間で約4万1,000人が来場しました。

うどんサミットとは、国産小麦粉を使った「ご当地うどん」が集結してグルメバトル形式で行われるもので、蒲郡では昨年に引き続いての開催となりました。

今年はみなとオアシスでの開催ということで、会場の飲食スペースにおいて、国土交通省の事業やストック効果をPRしたパネルの展示させていただきました。

栄えある今年のグランプリは、うどんサミット初出場の「北海道純雪うどん」（札幌市）となり、昨年グランプリの金鯨カレーうどん（名古屋市）は惜しくも2位でした。閉会式では、来年も蒲郡での開催が発表されました。

三河港湾ぎャラリー



作品No.39 紅白キリン
(三河港神野地区)

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00
(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>